

平成27年度函館市公共下水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

平成27年度の処理区域内人口は240,551人となり、前年度に比べ2,164人減少したが、下水道普及率（行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合）は90.2%となり、前年度に比べ0.2ポイント増加した。また、水洗化区域内戸数は136,292戸、水洗化済戸数は129,111戸となり、水洗化区域内戸数に対する水洗化済戸数の割合は94.7%となった。

事業収益については、使用水量の減少による下水道使用料の減少や引当金戻入益の減少等により、前年度に比べ12,597,015円の収入減（0.2%減）となり、総額で7,589,158,478円となった。

事業費用については、退職給付費や企業債利息の減少等により、前年度に比べ520,115,465円の支出減（7.3%減）となり、総額で6,619,633,262円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ507,518,450円増加し、969,525,216円の純利益を生じた。

建設改良事業については、南部下水終末処理場汚泥処理施設No.1乾燥設備工事で平成26年度からの継続事業が完了したほか、下水管渠工事、公共枿新設工事、日吉第1ポンプ所電気計装設備工事等を予定どおり施行した。

なお、函館湾流域下水道事業費負担金で、2,077,740円が建設改良費の繰越額となっている。

3

o

:

j

č

ě

z